

◆ 選挙公約を中間評価し、通信簿をつけました

市議会議員の任期4年の折り返し3年目という節目にあたり、私、三浦ひろしが2007年の統一地方選挙で掲げた選挙公約の中間評価を行いました。

前半2年間の自己評価を基に、専門家に第三者評価もしていただき、客観的な中間評価となったと思います。この中間評価を活かして、残り後半2年間の議員活動を市民目線の有意義な活動にしていきたいと思います。

国政選挙や市長選挙では、「マニフェスト」という言葉が定着しています。ですが、私たちが市議会議員も、立候補するときに「選挙公約」を掲げ、選挙公報にも掲載し、選挙を行います。

「選挙公約」を掲げて当選する以上、「マニフェスト型選挙」と同様に、有権者と契約を交わしたと言えるのではないかと思います。私は、市議会議員選挙でも「議員版のマニフェスト」を掲げ、「マニフェスト型選挙」を行っていく必要を感じています。

よく有権者の方から、「選挙が終わったあと、私たちが投票し、当選した市議会議員がどのような活動を行っているのか、見えてこないし、選挙公約を守っているのかも分からない。」という声を耳にします。

ですから、「公約実現のためにどのような戦略を立てて具体的な行動や実践を行ったのか」「どのような成果があったのか」「活動していく中で新たに増えてきた問題意識や地域発展への課題は何か」などに対して、市議会議員も積極的に、十分な説明責任を果たし、情報を公開していくことが大切なのではないでしょうか。



三浦ひろしの 議員版マニフェスト(選挙公約) 「4つの基本姿勢と10の挑戦！」

- 1 ふるさとを守りたい!**

 1. 中心市街地を離れた商いの流れを分散させること無く中心市街地を含めて還流していく仕組みをコンパクトに作ります。
 2. 私の孫の世代まで考えた豊かな故郷を創造していきます。
 3. 商店街の空き店舗を利用した「エスタシオン」を応援していきます。
 4. Iターン、Uターンなどの人たちと連携した独自の取り組みを積極的に仕掛けます。
- 2 せいかつを守りたい!**

 1. 従業員、個人事業主、中小零細企業、老舗や新興企業、NPO法人などの皆様が自ら頑張り、生活していく中で、どうしても足りない部分をサポートします。
 2. 八戸市全体をチャレンジコミュニティ（挑戦する社会）にしていきます。
- 3 伝統文化を守りたい!**

 1. 個人の歴史を含めた地域に密着した歴史を探訪し、伝統文化に触れる機会を多く創造します。
 2. 「温故知新」、街の活性化のシーズ探しを行います。
 3. 安藤昌益を始めとした、ふるさとの価値をもっともっと全国に、世界に発信します。
- 4 20代、30代が支える社会の仕組みづくり**

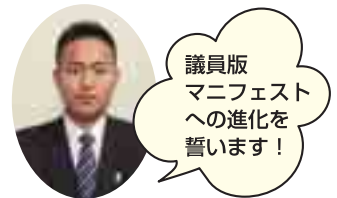
 1. 社会人向けの職業教育・訓練の機会の充実を図り、仕事を創れる人材を八戸市全体で産み出していきます。

【議会内活動】 毎定例議会の一般質問で、市政に関するチェックと、市政への提案を行います。

【議会外活動(情報公開と、説明責任の度合い)】

議員としての活動状況を、ブログ、市政報告会、街頭などの場を活用して、分かりやすく報告していきます。

【自己啓発活動】 新人議員として必要な知識に関する自己啓発を積極的に行います。



評価結果

自己評価	第三者評価
80点	50点

※詳しい評価内容は次ページへ

◆ 評価結果を受けて、今後の抱負を語る

今回、任期の折り返しである3年目を迎え、中間評価を行ったわけですが、その結果は、評価を意識して公約を作っていなかったとはいえ、自己評価の点数80点よりも専門家による第三者評価の方が点数50点と厳しい結果になりました。

第三者評価の内容を今後の課題として、第三者にも伝わる議会活動に取り組みます。

そして、今後、この評価をもとに報告会を開き、市民と一緒に頑張って、政策づくりのワークショップの開催や意見交換を重ねながら、現在の選挙公約を「議員版マニフェスト」となるよう、改善・改良してまいります。

